

東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設

第1回資料選定検討委員会（2018年10月31日）における展示に対するご意見・ご指摘事項

資料5

分類	ご意見・ご指摘	対応	備考
全体・共通	1 低年齢層への対応をどう考えるか。	・タブレット解説に子ども用解説を追加する。	基本構成資料に加筆
	2 外国語対応をどう考えるか。中国語、韓国語は必須となるが、なるべく多くの言語での対応が望ましい。子ども用音声ガイドもあるとよい。	・グラフィック上はタイトルのみを多言語表記として、解説文はタブレットで画面・音声で対応。タイトルを何言語表示するかはデザインバランスを見て検討。 ・タブレットでは「日・英・中（簡体、繁体）、韓国語、仏、露」の6か国語対応予定。	基本構成資料に加筆
	3 詳細情報がタッチパネルに入っているが、団体が来た場合に対応が難しいと感じる。また、滞在時間が短い方もいるため、各ゾーンで概略がわかるような工夫があるとよい。	・各ゾーンの証言映像で県民目線での概要を伝えるとともに、それぞれ展示演出としても目玉となるコンテンツを用意しているため、そこだけを見ることで概略はわかるようになっている。	各ゾーンの目玉コンテンツを、基本構成資料のコンテンツ名に★印で標記。
	4 実物資料の扱いと県博との連携はは どう考えるか。	・福島大で収集しているため、今後委員会にて展示物を検討していきたい。県博とも連携して進めていくことになっている。	
	5 原子力災害がADR（原子力損害賠償紛争解決）を含めて現在進行形であるため、将来どう対応していくか。	・5年スパンで部分更新、10年で大規模更新を想定している。 ・シアターコンテンツの更新は毎年等短いスパンで行うことが難しいため、「復興への取り組みが始まっている」ところまでを扱い、現在進行形の部分については詳細まで取り上げず構成する。 ・随時情報を更新することが必要な「長期化」「復興への挑戦」は、展示も更新が可能なシステム（情報コンテンツ、実物、グラフィック等）を採用する。	
	6 原子力災害の原因として、津波だけで良いのか、裁判で争われている内容の扱いをどうするか。	・裁判が発生していることという事実については取り上げるが、各案件の内容については、事実確認がとれないため、取り上げない。現在明らかになっている事実のみを展示に反映する。	

分類	ご意見・ご指摘	対応	備考
	7 人と防災未来センターでは、語り部を含めて複合的な展示をしている。また、研究活動や資料の活用などを通して、人材育成にも取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語り部については、展示アテンド、復興への挑戦ゾーン内、研修室及びワークショップスペースでの連携を想定している。</li> <li>・研究活動や人材育成については、調査研究・研修事業として別委員会で検討中。</li> <li>・語り部育成事業についても今年度より取り組んでおり、開所後も継続していく予定。</li> </ul>	
	8 複合災害として、地震・津波と原子力災害をどうすみ分けるか。何を持ち帰ってもらうのかを明確にした方が良い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害のはじまり」では地震・津波被害、原子力発電所事故をコーナーを区切って棲み分け。以降は原子力災害を中心に構成。</li> <li>・「災害のはじまり」～「県民の想い」では、「福島で何が起きたのか」という事実と、当時の県民の想いについて、来館者に伝え、災害は自身にも起こりえるということを意識させる。</li> <li>・「長期化する原子力災害への対応」では、来館者に福島の教訓を伝え、前段を踏まえて、自身の防災意識を高めてもらう。</li> </ul>	
	9 復興で街がどんどん変わっていつている。OFCや県原子力センターのホワイトボード等も実物だけではなく、空間の映像も残したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近日中に資料収集予定で、内部の撮影も行う。また、大熊町、双葉町の撮影も進めている。</li> </ul>	
	10 映像が多いため、いかに来館者を惹きつけられるか展示に工夫が必要。実物との組み合わせ等を検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ゾーンで目玉となるコンテンツ・演出で来館者を惹きつけた。実物展示も各ゾーンに取り入れている。</li> </ul>	
	11 映像設備について、メンテナンス等への配慮が必要となる。いかに簡便なシステムにするかが重要になる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはLED光源のプロジェクター等長寿命の機器を採用予定である。簡易なシステムでは演出が難しい部分があるため、最適な機器選定を進める。</li> </ul>	
	12 触れる体験型展示はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査機器等ワークショップスペースを予定している。</li> </ul>	

分類	ご意見・ご指摘		対応	備考
プロローグ	13	人と防災未来センターと異なり、時系列に当てはめることはできない。福島の明るい部分も見せた方が良い。	・シアターコンテンツは「復興への取り組みが始まっている」ところまでを扱いたい。	
ゾーンタイトル	14	() カッコ書きはタイトルとしてふさわしくない。修正の方向性は問題ない。	カッコ書き削除	
	15	全体としてタイトルが長い。	「原子力発電所事故」等の言葉自体が長いので、修正が難しいか？	
	16	“初期”の期間をどう考えるか？いわきでは4・11の被害が大きい。場所によっても“初期”の考え方が異なる。	・初期の期間は、避難所生活までのイメージでゾーンを構成している。避難所を出てからの生活については、長期化の部分で取り上げる。	

